

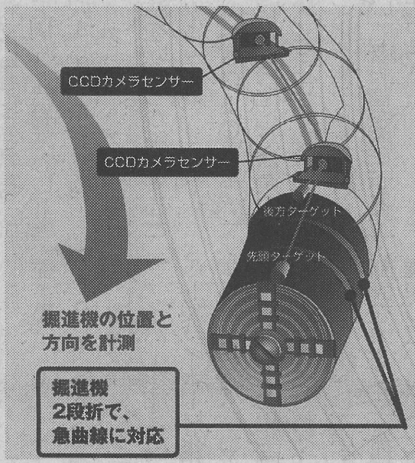
最新機能で都市部の下水道施工に対応する

『ミリングモール工法』『ジャット工法』

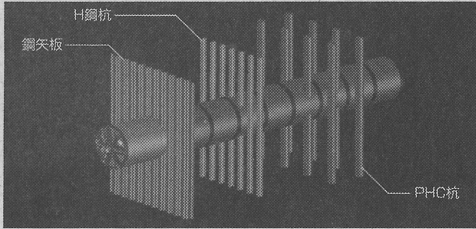
ヤスダエンジニアリング

ヤスダエンジニアリング（大阪市浪速区塩草三二一・二六、〇〇六・一六五六一・五七八八）は、八月四日～七日まで東京ビッグサイトで開催された「下水道展」で、「ミリングモール工法」や「ジャット工法」を紹介し、好評を博した。

地下インフラが整備され尽くし、様々なパイプラインが埋設される都市部の地中にバイパス管路など新たな地下インフラを構築する場合、過去に



ジャット工法の施工イメージ



残置された鋼矢板やH型鋼、鉄筋コンクリート杭などが支障となっていました。このため一般の非開削工法では対応できず、難易度の高い施工となっていた。

同社の推奨する「ミリングモール工法」(φ800mm～φ3000mm)は、地中の支障物を地下

構造物に影響を与えず、たとえ安全に切削除去して管路築造することができる地中障害物対応型泥

濃式推進工法である。同工法は、カッタスポークに支障物を切削する

ミリングモール工法による支障物切断貫通

程の小口径長距離曲線推進工法である。

同工法は、管内に複数挿入されたCCDカメラ

センサーがマシンの前と後ろにあるターゲットで計測。センサーから送ら

れてくる画像情報を地上のPCで演算処理を行い、

計画と施工の誤差を素早く算出することにより、

高精度な長距離・曲線推進を実現するといふもの。

地上からの計測ではなくCCDカメラセンサー

で発進立坑から坑内測量を行うので埋設物や電

線、軌道などの影響を受けない。このため、河川

の下、鉄道の軌道下、交通量の多い道路の下、深

い土被りの推進なども外部要因に左右されずに計測できる。

掘進機は2段階となっており、φ400mm～φ600mmの場合で30m

R、φ350mm・φ700mmの場合で150mRの最小曲率半径で施工可

能。掘進機は分割することもでき、小さな立坑から発進できる。

対応できる土質は、粘性土、砂質土、砂礫、玉石まじり砂礫、土丹、固結土、岩盤など幅広い。

ジャット協会 〇〇六-6561-2117

http://www.jyat.net

ミリングモール協会の展示ブースで、同社の推奨する「ミリングモール工法」(φ800mm～φ3000mm)は、地中の支障物を地下構造物に影響を与えず、たとえ安全に切削除去して管路築造することが

できる地中障害物対応型泥濃式推進工法である。同工法は、カッタスポークに支障物を切削する

ミリングモール工法による支障物切断貫通

